

患者の会 ～みどろけつわくはなほん～

■断酒会のお知らせ

「二つ人が酒を飲み二つ酒が酒を飲む 三つ酒が人を呑む」

昭和六二年に断酒会に入会し、この言葉と共に酒と向き合うことになった。

断酒会の仲間を支えられながら、○年目を目前(九年一〇ヶ月)で飲んでしまった。

仲間を裏切ったこと、自分が情けなくしばらく酒におぼれた。自分がいやになり痴呆症の母を連れて死ぬところを探した。それもできず妹に母をお願いし、病院に助けを求め入院した。入院してA君との出会いが再出発のきっかけとなった。彼はなりたくてなった病気でないのに、自分にとっても優しくしてくれた。入院中の断酒学校の参加でさらに酒で悩む仲間と語り合い、生きる力をもらった。

飲んだら結局一人になってしまふ。飲まないほうが、酒のことを考えずに済むから楽になることがわかってきた。それから、○年仲間なしでは

今の自分はない。医療現場 地域の人達に支えられていることに感謝している。

自分にとって一番大切なことは今日の断酒の継続であり、人間としての復活を目標に生きることである。もし自分の願が叶うなら、子供にあつてみたい。飲んでいない今の自分を見てほしい。誤りたい…

自分と同じ悩みをもっている方は是非砂川ピンネ断酒会で語り合いましょう。

連絡先については、第三日曜日 13:00~15:00まで当院別館四階集 団療法室に直接来ていただくか、代表連絡先として電話〇二五(五三) 三四三九までご連絡ください。

■「杏の会」開催のお知らせ

「杏の会」は、乳がんで悩んでいる方達の集まりで、今年四月で二〇回目になります。

発足は、平成一七年四月からで、通の患者様からのお手紙がきっかけで当時の看護部長長谷川さん達が立ち上げ

乳がん友の会「杏の会」 会員募集について

「杏の会」は、乳がんで悩んでいる方達の集まりで、今年四月で二〇回目になります。発足は、平成一七年四月からで、通の患者様からのお手紙がきっかけで当時の看護部長長谷川さん達が立ち上げ

断酒会「杏の会」の活動内容や、断酒会への参加方法、連絡先などが記載されている。

て下さいました。

年に四回ぐらゐの集まりで、講師は外科の田口先生ホルモン剤、抗がん剤の副作用など又納豆菌や乳酸菌のお話など興味深いことが多く、認定看護師の森さんによるリンパマッサージ実践など、など…

日頃の小さな疑問や生活の工夫など気軽に発言している会で、一人で悩むのではなく仲間がいることを忘れないで!!前向きで前進。乳がん一四年目を向かえた前谷千賀子さんの一言

私は、リンパ切除もしているので左手がとて太く大変。最近では色々な情報を、認定看護師さんから教えて頂き弾性スリーブなどを着用し地道な努力をしております。

ご連絡先は、がん診療相談課係 担当森 佳子 電話〇三五(五四)二三三(内線五七四)

「若葉会」開催のお知らせ

デイケア 若葉会の活動をインタビューしてみました。

毎週月・火・木(九時~一五時)活動しています。活動内容は農耕・料理・スポーツ・陶芸などを通し、仲間と楽しい時間を過ごしています。農耕では枝豆・トマト・スイカ・サツマイモなどを作り料理教室にも使用しています。

「若葉会」の活動内容に関する詳細な告知ポスター。活動日時、場所、参加費、お問い合わせ先などが記載されている。

男の料理も徐々に腕が上がり女性メンバーもタジタジとか。仲間が集まれば、薬のこと、Drのこと、作業のことを話し合い、仲間と有意義な時間を共有している。

この活動の参加を希望される方は精神科医師か作業療法士又は精神科外来の看護師にご相談ください。

シリーズ 院内エキスパート ③

放射線科

放射線治療品質管理士



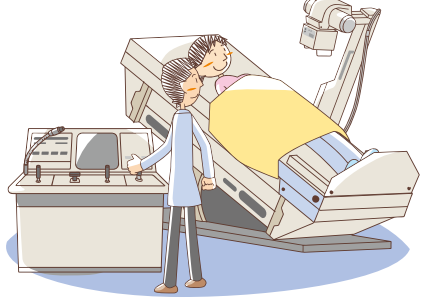
放射線治療品質管理士 河崎 一仁

診療放射線技師に関わる認定資格にはX線撮影・CT・MRI核医学(RI)・放射線治療などの業務に対して、それぞれの分野別に専門技師制度があります。その中で更に分化した認定資格なども各学会整備しています。

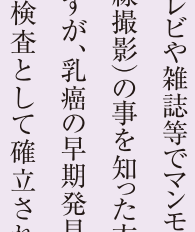
その他にも、文部科学省に関連する放射線障害防止法で必要になる第一種放射線取扱主任者(国家資格)や放射線発生装置検査装置の機器管理や画像情報管理など幅広い分野の認定資格があります。

放射線技師の業務としては、各装置の性能を十分發揮してより診断や治療に役立つ画像を提供する専門性と休日・夜間の救急では一人でX線撮影やCT・MRIなどの検査から急性心筋梗塞、脳梗塞などの血管内治療までを対応できる多面性も求められています。

これからの中で今回は、新病院に向けて特に重要性が高い認定資格者をご紹介します。



マンモグラフィ撮影認定技師



マンモグラフィ撮影認定技師 かのう 亮浩

最近テレビや雑誌等でマンモグラフィ(乳房X線撮影)の事を知った方も多いと思いますが、乳癌の早期発見に非常に有効な検査として確立されています。私達はその診断価値を高いレベルで維持するために専門機構から認定を受けた診療放射線技師です。

マンモグラフィに対して痛い、怖い、恥ずかしい等の不安をお持ちの方もいらっしゃるかも知れませんが、その誤解や不安を少しでも取り除いて、快く検査を受けて頂き、乳癌で苦しむ方を一人でも減らせるように日々努めています。また、当院には女性技師も在籍しておりますのでお気軽にお尋ねください。空知地域の乳腺診療に少しでも貢献できるように技術、知識、心を磨き続けたと思います。



マンモグラフィ撮影認定技師 かのう 亮浩

第一種放射線取扱主任者



第一種放射線取扱主任者 後藤 利昭

放射線取扱主任者免状は、おのおの職種に付随した専門認定資格ではなく、文部科学大臣から免許された独立した国家試験によるものです。病院施設においては、おおくのことがが厚生労働省の医療法によって規定されていますが、高エネルギー放射線発生装置(放射線治療装置、リニアック)や、将来導入予定のポジトロン断層撮影装置(PET)の調整に用いられる密封線源(容器に封入された放射性物質)などは、文部科学省の放射線障害防止法によって規制され、定期的な立ち入り検査を受けなければなりません。

私はこの免状によって当院の「放射線取扱主任者」に選任され、文部科学省からの通知等の点検・法定帳簿類の管理、提出書類の監督などをおこなっています。放射線科には、私他に数名の放射線技師が第一種放射線取扱主任者の免状を所持しています。現在当院では、来年度にせまった新病院への改築に向けて、各職種、各部署において意欲的に準備を進めているところですが、私も、改築工程上の諸手続きが順調に進むように努力をしております。